

文化、産業、生活、団体活動について実地観察、研究調査を行なうとともに、その地域の婦人との交歓等を行なうことにより、社会的視野をひろめ郷土社会の振興に役だつ知識、技能を修得し、もって婦人の資質の向上ならびに明るい社会の建設に寄与する。

(2) 期日、派遣地域

昭和39年9月28日より10月4日まで7日間
群馬・埼玉県

(3) 参加者 11 (うち引率者1名)

(4) 視察調査地ならびに内容

調査地	内 容
桐生市	○桐生市婦人教育状況調査 ○桐生市婦人会、婦人学級生との交歓 ○社会教育施設、産業施設見学
沼田市	○沼田市婦人会、婦人学級生との交歓 ○新生活運動実践組織との交歓
高崎市	○高崎市産業、文化、教育施設見学 ○高崎市婦人会との交歓
前橋市	○群馬県婦人教育状況調査 ○前橋市婦人会・県婦連役員との交歓 ○天川小PTAとの交歓 ○前橋市内の社会教育・体育施設見学
浦和市	○埼玉県婦人教育状況調査 ○埼玉県婦連会との交歓 ○県婦人会館施設見学
飯坂町	○事前研修 ○事後研修

(5) 効果

群馬県、埼玉県の社会教育行政者および婦人教育関係者との交歓、共同研究により、研修参加者のもつ研究テーマの究明に得るところが多かった。研修終了後参加者おのおのの活動が、地域の婦人教育におよぼしている効果はきわめて大きい。

5 婦人学級生大会

(1) 目的

本県各方部の婦人学級生および婦人学級関係者が一堂

に会し、その研究成果を発表交換しあい、婦人学級の運営・学習活動・学習内容等について研究協議し婦人教育の振興に資する。

(2) 期日、会場、参加者数

方 部	期 日	会 場	参 加 者 数
浜通り方部	12月3日～4日	磐城市市民会館	310名
中通り方部	12月11日～12日	二本松市岳	300名
会津方部	12月16日～17日	会津若松市東山	250名

(3) 内容

① 研究協議題

ア 研究主題

- 婦人学級の学習活動の中でどのような内容がとりあげられているか。その問題点は何か。
- 婦人学級の学習内容を充実するために、どのように条件を整備し、運営をくふうしているか。

イ 分科会協議題

- 第1部会 市民生活を中心として
- 第2部会 子どもの教育を中心として
- 第3部会 家庭の生活設計を中心として
- 第4部会 生産・職業生活を中心として

② 研究協議の方法

- ア 講義 学習内容からみた婦人教育の現状と問題点
東北大学助教授 塚本哲人
福大学芸学部教授 堀口知明

イ 研究発表 文部省委嘱婦人学級・県実験婦人学級の研究成果の発表

ロ 分科会構成 分科会は部会毎に都市部と農村部に構成する。

ハ 他県婦人学級の現状発表 昭和39年度婦人国内研修者による。

ニ レクリエーション 歌と室内ゲーム

ホ 分科会報告と全体討議

ヘ まとめ。

(4) 効果

学習活動を通して持ちよられた具体的な問題によって研究協議がすすめられた。進展する社会において婦人の学習はいかにあるべきか、また出かせぎ、主婦労働過重により学習意欲の盛りあがらない時どのようにくふうしているか等討議されたので各地域とも事後の学習活動や態度に積極性が加わった。